

令和4年6月16日

30回生 学年通信 第4号

Look up!



< 行事からの切り替え! >

先週末に西陵祭・文化の部が終わりました。各クラスとも工夫を凝らして展示を作製していましたね。行事を通してクラスの人間関係も深くなったのではないのでしょうか。西陵祭・文化の部の振り返りについては、本日配信のアンケート結果とともに次回以降の学年通信でお知らせします。

さて、今週は行事が終わった次の週ですが、気持ちの切り替えはできていますか? 何となくだらけてしまっていないですか? **行事を頑張れたのなら、勉強も部活動も頑張れるはず。**要は「頑張り」の方向性です。前回の学年通信では中間考査の振り返りアンケートの結果を掲載しましたが、明日で期末考査 2 週間前です。英語・国語・数学の先生方から勉強方法についてのアドバイスをいただきました。考査前の勉強はもちろん、授業を大切にするために参考にしてください。



数学科(庄野先生より)

数学は勉強しやすい科目です。予習授業復習のサイクルを確立しましょう。

- 予習：週末課題です。どんどん内容を進めても損することはありません。
- 授業：進度が遅いなあとと思うぐらいが正常です。
- 復習：確認のために REPEAT などて解きなおしをしましょう。

まずは授業と復習に取り組んでください。数学を武器にしたい、理型・文Ⅰへの進学を希望するのであれば、予習にも手を出してみましょう。

英語科(西野先生より)

【英語コミュニケーションⅠ】

1. 試験範囲の中で知らない語句がないかを確認する。
2. 各文の文構造を把握して日本語訳が自分でできるかを確認する。
3. 内容を理解した上で音読を繰り返す。

上記のことを1から順に取り組む。多くの生徒が1の段階で、つまり単語レベルでつまづいています。まだまだ複雑な文構造をもつ英文や文法事項を用いた英文は1年生なので、出てきていません。試験に向けての勉強方法としては、上記1～3で足ります。

【論理・表現Ⅰ】

文法問題の勉強方法は、正解した問題も不正解だった問題からも学び切ることです。正解した時にたまたま正解しただけで、その結果に満足してそのままにすることはありませんか。なぜそれが正解なのかを他人に説明できて初めて「理解している」と言えます。不正解の場合に赤ペンで答えを写して終わりにしていませんか。これはもったいないです。間違ったということは、自分自身に足りていない知識や理解がそこに必ずあるのです。

「私は何から勉強すればよいか分からない」と悩む生徒の声を毎年聞きます。間違った問題から勉強を質問することを通して始めましょう。どこを見て、どのように考えて、答えを出すかを知ることが大事です。それが勉強です。答えを写すことから実力は伸びません。「分からない」と感じた時、それは自分が大きく成長できるチャンスなのです。

